

令和3年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立沼津特別支援学校 伊豆田方分校 P T A
学 校 名	静岡県立沼津特別支援学校 伊豆田方分校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	36人

1. 使用状況

寄贈物品名	トーンチャイム
使用学年及び人数	高等部1～3年生 36人
使用頻度	週1回程度
使用状況	主に、学部で行う音楽の授業や部活動(総合文化部)で使用している。
物品の使用による変化や効果	昨年度からの積み重ねで、多くの生徒がトーンチャイムに親しみを持ち、抵抗なく活動に参加している。そのため、自信を持って演奏をすることができている。今年度入学した1年生の中にも、これまでにトーンチャイムを使ったことのある生徒もおり、学部や部活動でのトーンチャイム演奏に楽しんで参加することができた。また、今までトーンチャイムに触ったことのなかった生徒も、簡単に音が出せるため、無理なく活動に参加することができた。音域を広く揃えることができたため、演奏できる曲の幅も広げられることができた。地域のイベントや、学校行事等で演奏する機会もあり、様々な場面で活用することができている。
今後の活用の見通しや課題	以前まではコロナ禍で歌唱の活動に制限があったが、現在制限がなくなったため、トーンチャイムを演奏しながら歌う活動にも挑戦していきたい。また、トーンチャイムのみの演奏だけでなく、他の楽器と組み合わせて演奏する活動も取り入れていきたい。 トーンチャイムの優しい音色は、演奏している人にとっても、聴いている人にとっても心地良いものであるため、演奏できる場をもっと増やしていきたい。
その他希望や所感など	音楽の授業や部活動で演奏をすることは、生徒同士のつながりを作り、学年を超えて交流をすることができる。また、1曲をみんなで完成させることは、生徒たちの一体感を生み、絆を深めることができる。トーンチャイムを通して、それらのことを生徒たちに経験してもらいたい。

2. 活用の様子

【地域のイベントでのトーンチャイム演奏の様子】



【行事でのトーンチャイム演奏の様子】

